

第14回

福祉用具

アイデアコンテスト

福祉機器や福祉用具、ユニバーサルデザイン、
障がいの有無にかかわらず利用者ニーズに配慮したサービス…
誰もが快適に暮らせるためのアイデアを募集します。

あなたの浮かんだアイデアを
カタチにしてみましょう！



自由課題

高齢者、障がいのある人、妊婦さん、幼い子どもたちなど

誰もが快適に暮らせるための「もの」や「サービス」の工夫

特定課題

安心・安全な暮らしをつくるコミュニケーションを考える

主催 日本福祉大学健康科学部

共催 日本福祉大学福祉テクノロジーセンター

後援 愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、半田市、大府市、東海市、名古屋市教育委員会、
半田市教育委員会、大府商工会議所、財団法人 共用品推進機構、日本弁理士会東海支部、豊田通商株式会社、
株式会社シルバー産業新聞社、キヨタ株式会社、株式会社アンデコール

応募締切 **2017年9月11日(月)** 必着

問合せ先 日本福祉大学 福祉用具アイデアコンテスト係

TEL (0569)20-0111 FAX (0569)20-0119 ホームページ <http://www.n-fukushi.ac.jp/fkidea/index.html>



日本福祉大学

第14回

福祉用具

アイデア コンテスト

募集
要項

自由課題

高齢者、障がいのある人、妊婦さん、幼い子どもたちなど

誰もが快適に暮らせるための「もの」や「サービス」の工夫

参考：公益財団法人 共用品推進機構ホームページ <http://www.kyoyohin.org>

特定課題

安心・安全な暮らしをつくるコミュニケーションを考える

“コミュニケーション”と聞くと、皆さんはどのようにイメージをしますか？

例えば、「会話をする」、「メールでやり取りする」、「点字や手話で伝える」などがありますが、その他にも今は多くのコミュニケーション手段を利用することができます。またコミュニケーションは、「人と人、人と地域、人と社会などの繋がりをつくるもの」と考えると、私たちの生活や活動にとって、なくてはならない、かけがいのないものとなるでしょう。そこで、障がいのある人、高齢者のみならず、海外からの来訪者など、多様な人々がお互いにコミュニケーションでき、誰もが安心・安全な暮らしや豊かな生活を過ごすための機器・道具や情報技術の活用、サービスや環境整備などを考えてみましょう！

***自由課題、特定課題のどちらでも(両方でも可)応募することができます。**

応募資格

全国の高校生(個人またはチーム)

応募方法

＜個人やチームで応募する場合＞

応募用紙に必要事項を記入し、郵送で提出してください。

＜クラスや団体でまとめて応募する場合＞

別紙(様式自由)に学校の郵便番号、住所、電話番号、学校名、担任または担当の先生の氏名、総応募点数を明記して添付してください。

応募用紙

この要項に添付のほか、日本福祉大学ホームページからダウンロードすることもできます。<http://www.n-fukushi.ac.jp/>

応募締切

2017年9月11日(月)必着

結果発表、表彰・賞品

自由課題、特定課題について、それぞれ最優秀賞1名、優秀賞2名ほかを選出します。なお、最優秀賞には3万円分の図書カードおよび記念品、優秀賞には1万円分の図書カードおよび記念品を贈ります。結果は、2017年10月中旬までに日本福祉大学ホームページ上で発表します。

また、2017年10月22日(日)日本福祉大学健康科学部(半田キャンパス)オープンキャンパスにて、表彰式を実施いたします。

応募先・お問い合わせ先

日本福祉大学 福祉用具アイデアコンテスト係(日本福祉大学 半田事務室)

〒475-0012 愛知県半田市東生見町26-2 TEL (0569) 20-0111 FAX (0569) 20-0119

審査員

審査委員長

久世 淳子(日本福祉大学健康科学部長)

審査員

渡辺 泰典(豊田通商株式会社 食料・生活産業本部 ヘルスケア部 部長)

星川 安之(公益財団法人 共用品推進機構 専務理事)

安田 勝紀(株式会社シルバー産業新聞社 編集長)

清田 明彦(キヨタ株式会社 代表取締役社長)

小島 直子(株式会社アンデコール 代表取締役) 他

注意事項

- 応募作品(最終的に応募者の作品として公表されるものを含む)に関する著作権等の知的財産権は、応募者に帰属するものとします。
- 優れた作品については、入賞作品として公表される前に、希望により本学教員の助言・指導を受けることができます。
- 入賞作品の公表時期・公表手段・公表内容等については、大学のスケジュール・決定に基づくものとします。
- 結果発表後、応募作品を大学における教育・研究対象とさせていただきます。これらの場合、事前に大学から問い合わせを致しますのでご協力ください。
- 実用性が高いと評価された応募作品については、応募者の希望に応じて、その製品化および特許出願等の権利化について、可能な範囲での助言、企業・専門家の紹介等の支援を行うことができます。

健康科学部 福祉工学科 AO入学試験出願を検討している方へ

2018年3月に高等学校を卒業見込みの方について、この「福祉用具アイデアコンテスト」への応募は、健康科学部福祉工学科のAO入学試験における「求める人物像」の趣旨にかなうものとしています。

詳しくは、日本福祉大学入学広報課(0569-87-2212)までお問い合わせください。